



石研修生から見た

石研修所所長はこんな人

がんさん

鼓童研修所・三代目所長の石原泰彦。96年から研修所を預かり、生な若者達と格闘の毎日続行中。そんな我らの所長を研修生の眼でご紹介します。

文・イラスト●1年 小見麻梨子 ちょっと手伝った人●1年 草洋介

鬼打ちにも選ばれる。研修生のスケジュールを常に考え、それを書いた黒板は超見やすく、字がかわいい。自分でも田んぼを借りて、田植え、稲刈りは家族そろってというパパぶりも垣間見える。鼓童一、忙しい人だと私達は感じています。いつも、私達のためにありがとうございます!!

毎日毎日、研修所へ鼓童村の片道40kmを往復し(時に2往復)、研修生の世話…。研修生への鬼剣舞の稽古では鬼のような踊り込み。土曜の夜は佐渡鬼剣舞の指導員。卓球、サッカー、トライアスロンを得意とするスポーツマン。行事では、自慢のたこ焼き(あくなき探求心によって進化し続ける)を振る舞い、太鼓ワークシヨップでは計算しつくされた時間配分。柿野浦の消防団員でもあり、祭りでは



石原泰彦(いしはらやすひこ) 一九六六年生まれ 京都府出身 O型、いて座 鼓童内ニックネームである「がん」の呼び名でメンバー、研修生に親しまれる研修所の父。(編集部註)

大図解 がんさんのすべて

頭 | 研修生のことで苦勞は絶えないはずなのに、真っ黒、ふさふさの髪の毛

口 | 佐渡弁まじりのこてこて関西弁。口癖は「だんだん…」「～すべ!!!」

服 | トレードマークはオレンジのウィンドブレーカー 大自然の中でもよく目立ちます

目 | 時にきびしく、時にやさしく研修生を見守る。まれに光るのは涙かなあ…

手 | 農作業から研修所整備まで何でもこなす…そして料理上手

足 | とにかく太い…そして丈夫。走る時はナンバ走法気味、そしてすばやい!

カメラ | 研修生活のシャッターチャンスは逃しません

靴 | いつでも農作業可能長グツ

